

平成29年度 いぶよう 夏期セミナー 御案内

趣旨

- 1 幼・保，小，中，高校の教員等の特別支援教育に関する研修のニーズに対応するために，より実践的・発展的な研修機会を提供し，地域の教職員等の特別支援教育に関する専門的な理解や実践力を高める。
- 2 指宿市，鹿児島市喜入地区，南九州市穎娃地区内の医療，労働，福祉，教育の関係機関で特別支援に関する情報交換を行い，各機関における連携を深め，その実践力の向上に資する。
- 3 発達障害児（者）に対する必要な支援と適切な指導についての専門的な講話等を聴き，日々の実践力の向上を図る機会とする。
- 4 特別支援学校と地域の各学校及び関係機関との連携体制やネットワーク構築の機会とする。

日時：平成29年7月27日（木） 午前9時30分～午後4時30分

場所：鹿児島県立指宿養護学校 フレイルーム他

対象

- 指宿市，鹿児島市喜入地区，南九州市穎娃地区内の幼稚園・保育所，小学校，中学校，高等学校の教職員
- 指宿市，鹿児島市喜入地区，南九州市穎娃地区内の療育機関職員
- 南薩教育事務所，及び各市（指宿市，鹿児島市，南九州市）教育委員会関係者
- 各地区特別支援連携協議会関係者（行政機関を含む）
- 障害福祉サービス事業所，就労関係機関
- 県内特別支援学校教職員及び本校教職員

《 主な日程 》

9:00～9:30	受付	〔玄関〕
9:30～9:45	開会行事	〔フレイルーム〕
10:00～11:50	実技講座	
11:50～13:00	昼食・移動	
13:00～14:30	インシテントプロセス法に基づく事例検討会	
14:45～16:20	講演	〔フレイルーム〕
	講師：子ども総合療育センター	
		田邊 貴仁先生
16:20～16:30	閉会行事	〔フレイルーム〕

参加に当たって

- 1 参加申込は、7月18日（火）までに別紙「FAX送信票」でお申し込みください。
なお、実技講座の参加希望も併せてご記入ください。
- 2 開会行事では、校外支援の取組状況について紹介します。
- 3 実技講座は、同封の実技講座案内をご覧ください①～⑤の中から第3希望までご記入ください。講座の運営上、第1希望とならない場合もありますので御了承ください。受講していただく実技講座が決定次第、本校よりご連絡いたします。

本校ホームページに本セミナーも掲載してあります。ご覧ください。
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Ibusuki-H/>

実技講座案内

① 「発達検査 WISC-Ⅲの基礎」

WISC-Ⅲの概要と、実際の検査方法についての基本的な研修です。
WISC-Ⅲの検査が未経験な先生方を対象としています。

この研修を受けることで、それぞれの学校で「困り感」のあるお子さんに対して検査ができるようになり、認知特性を把握することができるようになると思います。

一つ一つの検査が、子どものどのような能力を把握しようとしているのかについて丁寧にお話ができればと思っています。

② 「自立活動 身体活動とセルフコントロール」

子どもたちに指導・支援を行う際に、どんな方法を大事にしているでしょうか？

- (1) 聴覚の活用：言語による働き掛け
- (2) 視覚の活用：絵カード、サインなどによる働き掛け
- (3) 身体感覚の活用：身体活動等による働き掛け

本講座では、(3)身体感覚への働き掛けによるセルフコントロールの指導法について、実際に体を動かしながら学ぶ機会にしたいと思っています。

—準備するもの—
運動のできる服装 フェイスタオル (30×80cm程度) 飲み物

③ 「音楽 楽器作り・楽器遊びやミュージックパネル」

「身近にある材料をこんなふうに組み合わせたら、こんな音が出るんだね」「これはこうしたらいいんじゃない」など、わいわいがやがや一緒に考えながら手作り楽器やミュージックパネルを作りませんか？

音楽の時間以外にもどこで活用するかはあなた次第です。

—準備するもの—
エプロンまたは汚れてもいい服 はさみ 黒の油性ペン 材料代500円程度
※ アクリルガッシュを持っている方はご持参ください

④ 「作業学習 アイロンビーズ作り」

アイロンビーズ作りは、高等部作業学習で生徒が取り組んでいます。
アイロンを使ってビーズを熱して絵柄などを作る手芸です。

ビーズの色の組み合わせや並べ方で、絵柄のバリエーションは無限大！
自分だけのオリジナル作品を作ってみませんか？

—準備するもの—
材料費300円程度

⑤ 「教材・教具 特別支援教育でのデジタル教材・教具の活用例」

デジタル教材の普及に伴い、タブレットの活用例やパソコンなどで製作された教材・教具も増えています。

この講座では、子どもたちにとって分かりやすく、興味・関心をもって活動に参加できるための教材・教具について一緒に考えていきたいと思えます。

教材を活用した事例の紹介や、デジタル教材やサイトの紹介、教材・教具を実際に製作する内容を予定しています。

※ 実技講座は上記5つの中から一つを受講してください。希望する順番に第1希望から第3希望を明記してください。講座の運営上、第1希望とならない場合もありますので、御了承ください。また、講座によっては、御準備いただくものや、経費が必要な場合もありますので、再度講座内容等を御確認の上、申し込みください。



別 紙

F A X 送 信 票

いぶよう夏期セミナー参加申込書

鹿児島県立指宿養護学校

支援部 阿久根 剛 宛

F A X 番 号 0 9 9 3 - 2 3 - 3 2 1 2

平成29年 月 日

送信者 氏 名 ()

学校・施設名

[]

幼稚園・保育所 小学校 中学校 高等学校
療育機関 就労関係機関 その他

参加者氏名

特別支援教育
コーディネーターの方は○
をお付けください。

参加可能な欄に○をお付け
ください。

実技講座の参加希望 (同封の講座案内をご覧になって第3希望までご記入ください。)

実技講座

講演会

① 発達検査

② 自立活動

③ 音楽

④ 作業学習

⑤ 教材・教具

実践協議 (講演会に
おいて講師の先生に
質問等がありましたら
ご記入下さい。

その他
(養護学校に対する要
望・意見、相談内容等)

